

# 社会福祉士が行う相談援助を考える

## ～高齢者の生活・介護支援に係る事例を通じて～

近年、高齢者を取り巻く情勢、環境は益々複雑化しています。

日頃の業務において私達が取り組む支援の中で、高齢者支援のみならず、障がい・精神・子ども・貧困問題と様々な問題と絡み合う事例に、どう支援していけばよいのか迷うこともあるかと思えます。社会福祉士として私達がどの様な視点・方法で支援していくか事例検討を通して意見交換し、学び合いたいと思えます。

翌日から早速実践に繋がられるような有意義な勉強会にしたいと思えます。

月末でお忙しいことと存じますが、万障お繰り合わせの上、是非ご出席ください。

☆ 日 時 8月31日(水) 19:00～20:30

☆ 会 場 長野市ふれあい福祉センター 4階 会議室3

(長野市大字鶴賀緑町 1714-5)

※会場周辺の駐車場案内 [駐車場案内 - 長野市ホームページ](#)

☆ 参加費 無料

☆ 事例提供者 長野市地域包括支援センター 桜ホーム

社会福祉士 和田健太郎 氏

☆ 内 容 下記の事例から見る社会福祉士としての視点、関わり方について意見交換

～ 例えばこのような事例の場合、あなたはどうしますか？ ～

A氏(90歳代)は息子(50歳代)と2人暮らし。息子は定職についたことがなかったが、市の道路拡張に伴い多額の収入があり、敷地内にそれぞれの家を建て、資産とA氏の年金(5万)で生活していた。その後A氏は体重減少が著しく、脳梗塞・認知症・老衰との診断を受け入院。胃瘻の造設の必要性を告げられ造設後は退院の方針となる。息子は施設入所の為に資産売却することを拒否、在宅介護も拒否。入院費の支払いもせずA氏の年金で生活している。

社会福祉士としてA氏への支援、養護者支援のあるべき姿とは？

※ここに掲載した事例だけでなく、参加者皆さんが現場で抱えているケースについても検討可能です。日頃悩んでいるケースについて、一緒に語り、そして考えましょう！

☆ 問合せ

○田村幸樹(福祉活動委員会 高齢者担当) 090-4621-5345

○竹内春美(福祉活動委員会 高齢者担当) 080-1134-9770

☆ 申込み 氏名及び連絡先を明記の上、以下の支部役員のいずれかにメールにてお申込みください ※申込み期限：8月24日(水)

○長峰夏樹 E-mail: naga252@gmail.com

○山本杉樹 E-mail: shizuyo-land@yacht.ocn.ne.jp

○澁澤昌也 E-mail: ituwaen-1@nagano-shajikyo.or.jp

○野口一輝 E-mail: k-matumoto@csw-naganocity.or.jp